

# 世界市民、インターネットでサーフィンしよう

## インターネット・ワークショップ

ブルース・ヘンデル

(要旨)

皆さんは、インターネットについてラジオで聴いたり、テレビで見たり、本や雑誌で読んだことがあるでしょう。今や日本の『バハイニュース』や全国精神行政会でも話題になっています。

「地球全体を包含し、国という障壁・限界を超え、驚くべき早さと確実性を持つ、世界的な相互意思伝達の手段が考え出されるであろう。」——ショーギ・エフェンディ——（『バハオラの世界秩序』【英文】203頁）、1936年3月11日。

守護者は、まさにインターネットについて述べておられるようです。

山口での第4回バハイ学術研究会の大会で、私は、仲間の皆さんがコンピューターを使いこなすことの重要性を強調しました。コンピューターが、何千何万という新しい信者を加入させ、教化する上で私達を助けてくれるたくさんの方々の方法の一つは、インターネットを通してバハイの資料を誰でも利用できるようにすることです。私の巡礼中に、万国正義院、国際布教センターのメンバー達と、大業の翼成者アマトゥール・バハ・ルヒア・カヌーンは、私達バハイは、地球上で利用できるすべての手段を使うことを敢然と確認しました。「聖なる最終期限が迫っている」からです。インターネットはまさにこの一つです。

探求者が呼びかけた時にいつでも利用できるようにし、質問の洪水を経済的に操作するには、バハイのボイス・メール・システムをインストールすることです。基本のソフトウェアは無料で手に入りますし、どんなコンピュータでもモデムをつければ使用できます。利用者が英語あるいは日本語で情報を必要としていれば、おおぜいの才能あるバハイがたやすく提供してくれるでしょう。事実、実際の専門的な放送経験があり、喜んで奉仕してくれるバハイがたくさんいます！また、コンピューターに詳しいバハイも大勢います。さあ始めましょう！

当然、パイオニアとしての私の願いは、できるだけ多くの人々にバハオラのメッセージを伝えることです。コンピューターはことを起こす方法を提供し、「系統だったディープニング」において明らかに主要な役割を演じます。もはや、インターネット越しに、求めに応じて聞かせるオーディオプログラムを制作することは可能です。インターネットを利用している人々は情報に飢えているのですから、どうして私達バハイが、彼らの生き方を変える情報を発しないでいられるのでしょうか。

今や、インターネット上で無料で手に入る、およそ20カ国語の何百というバハイの資料があります。コンピューターにより、世界中の人々がカラーの画面を見たり、お祈りを読んだり、聞いたりして、すべての聖なる書を調べることができます。

## インターネットの始め方

さて、立ち上げ、動かすために2、3必要なものがあります。まずマックや、ウインドウズを搭載したPC互換機が必要です。個人的にはマックをおすすめします。顧問補佐の東さんは、彼にとっては3台目のマックを買おうとしています。彼の2歳と3歳の娘さん達が同時に使いたがるからなのです！これほど怖がられない機械はないでしょう。いずれにしても、RAMは少なくとも16メガバイトは必要です。もはや、大容量のハード・ディスクは高価なものではなくなりましたから、500メガバイトかそれ以上のものを手に入れて下さい。

機器の次に不可欠なものは、モデムです。IBMの機器に対しては、専門家によれば、USロポティクスが選択すべきブランドです。28.8kbpsの外付けモデムには200ドルくらいかかると思って下さい。節約して遅いものを買ったりしないで下さい。結局、電話回線で時間を浪費し、高い料金を払うはめになります。英語を話すマック利用者には、グローバル・ビレッジ・モデムにかなうものはないでしょう。最もよいファックスのソフトウェアは、マニュアルを読む必要もないほど簡単に使えます。

日本語のシステムで使える機器を探しているなら、心配しないで下さい。どちらのブランドもここで手に入る日本語版があります。英語版は、通信販売でアメリカから取り寄せられます。もし日本へ船便で出せないと言われれば、機器を転送してくれる友達を作して下さい。コンピューターは、ネイティブでない言葉で振り回されなくても扱いにくいものです。たとえあなたが流暢であっても、インターネットのソフトウェアはすべて無料で手に入ります。ですから、マニュアルを読むのが好きな方以外は買わないで下さい。

次も是非必要なものですが、インターネットのプロバイダー（接続サービス提供者）を見つけることです。よく調べて見て下さい。必要なことは、いわゆるpppアカウント、優良顧客サービスと、そのタイプの料金方式を取れば、1分10円以下の料金です。住んでいる地域の本屋さんを調べてみて下さい。必ずその近辺のインターネットを中心に書いてある雑誌があるはずで